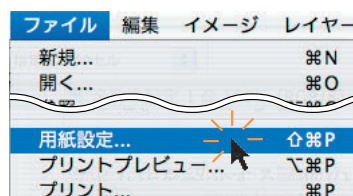


8-1 アプリケーションカラーマネジメントによるプリント手順

出力時のプリントサイズと解像度を設定したら、いよいよ印刷だ。ここではPhotoshopでの印刷手順を説明する。まず、画像ソフト側で①プリンタと用紙サイズを選択→②プリントの位置とサイズを確認→③カラーマネジメントを設定。次にプリンタ側で④印刷部数を設定→⑤用紙の種類を選択→⑥カラー調整の設定を行う。

アプリケーションカラーマネジメントでは、アプリケーション側で色調整の設定をし、プリンタ側では色調整の設定をしないことが重要だ。

① プリンタと用紙サイズを選択



① 画像の解像度とプリントサイズを決めたら、Photoshopのメニューバーから「ファイル」→「用紙設定」を選択する。



②「ページ設定」の設定画面が表示される。

③ [対象プリンタ] には、パソコンに接続されているプリンタの名前が表示される。プリンタを複数接続していた場合、クリックしてポップアップメニューから選択する。

④ [用紙サイズ] をクリックし、ポップアップメニューから用紙のサイズを選択する。

⑤ [方向] では、アイコンをクリックして印刷方向を設定する。通常は用紙に合わせて、縦長の画像は用紙の縦方向（⑤-a）に、横長の画像は用紙の横方向（同 b、c）にプリントするが、画像のサイズが用紙をはみ出さなければ、縦長の用紙に横長の画像をプリントしても構わない。

② プリント位置とサイズの確認



① 用紙設定を終えたら、メニューバーから「ファイル」→「プリントプレビュー」を選択する。



②「プリント（基本オプション）」の設定画面が表示される。

③ [位置] で、用紙の左と上からのプリント開始位置を指定する。通常は「画像を中央配置」が有効になっており、画像は設定した用紙の中央にプリントされる。ただし、プリンタによっては印刷可能位置の関係で長辺方向の中央から少しずれる場合がある。そのようなときはいったん試し刷りしてズレのサイズを測り、「画像を中央配置」のチェックを外して左からの開始位置を入力すればいい。

④ [拡大・縮小したプリントサイズ] では、[比率] の項目が「100%」となっている。比率を変更しても構わないが、本来は比率100%の状態で見出しのサイズにプリントされるよう、画像解像度で先に設定しておくべきである。ここでプリントサイズを変更した場合、書籍で述べたように画面上でピクセルの状態を確認できなくなる。

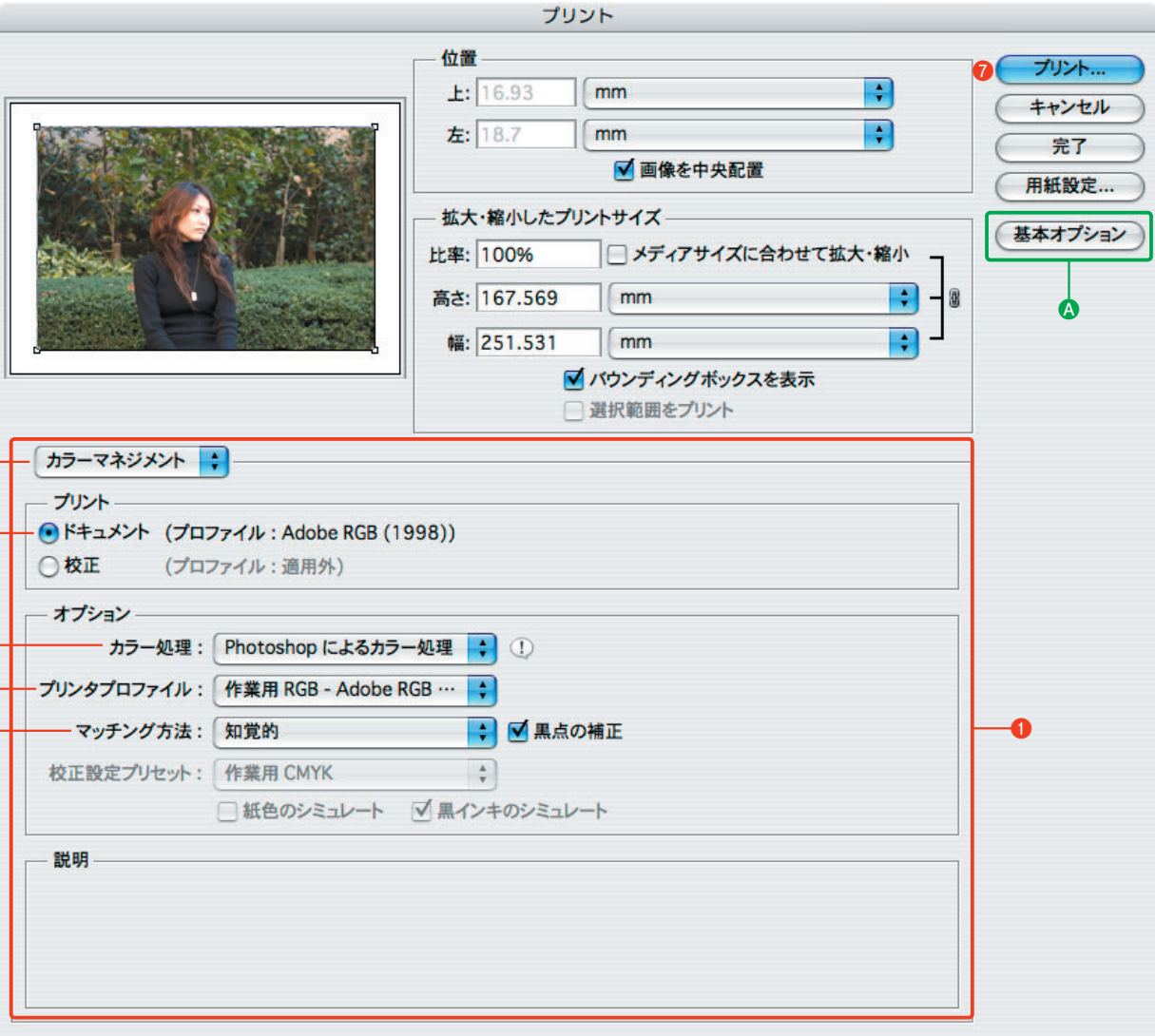
⑤ 先に用紙設定で決めた用紙サイズと縦横の方向に合わせて、ウィンドウの左側に印刷結果のプレビューが表示される。

⑥ もし用紙の設定を間違えていれば、「用紙設定」ボタンをクリックして用紙設定をやり直すこともできる。

⑦ [詳細オプション] ボタンをクリックする。

次ページへ続く ➡

③ カラーマネージメントの設定



- ① 詳細オプション欄でプリント時のカラーマネージメントを設定する（詳細オプションが表示されると「詳細オプション」ボタンが「基本オプション」ボタンに切り替わる（上図右上のA））。
- ② 詳細オプション上部のポップアップメニューから「カラーマネージメント」を選択する。
- ③ 「[プリント]」は、「[ドキュメント]」を有効にする。Adobe RGBのカラープロファイルを持った画像で作業していれば、プロファイルは「Adobe RGB」となるはずだ。
- ④ 「[オプション]」の「[カラー処理]」は、「[Photoshopによるカラー処理]」を選択する。

- 5 [プリンタプロファイル] のポップアップメニューからプリントに用いる用紙のカラープロファイルを選択する（詳細は次ページのコラム参照）。
- 6 [マッチング方法] は [知覚的] にし、[黒点の補正] にチェックを入れておく。
- 7 [プリント] ボタンをクリックする。この段階では、まだプリントはされない。次にプリンタ側の設定を行う。

次ページコラムの後へ続く ➡

◆コラム～用紙のカラープロファイルの選択

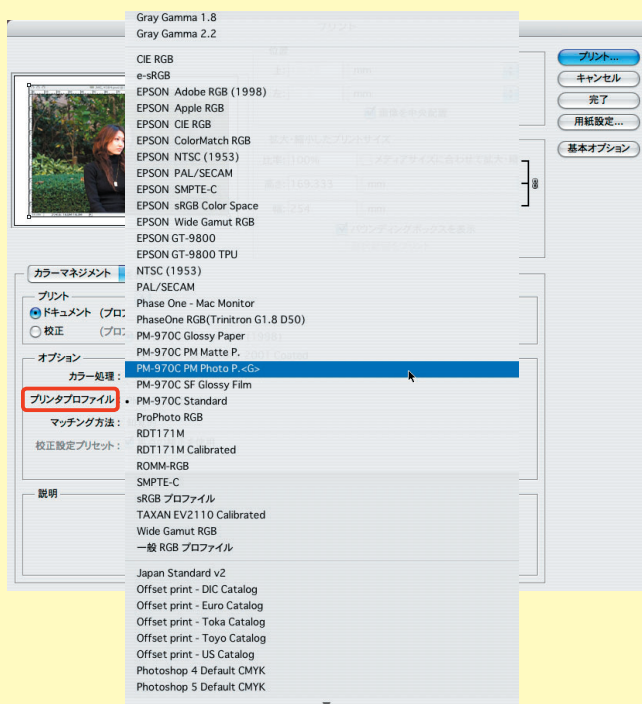
用紙によって各色のインク吐出量が異なるため、それらの情報を記録したICC プロファイル^{※4}を用紙の種類ごとに選択しなければならない。

プリンタプロファイルのリストにはたくさんの選択肢が表示されるはずだ（下図）。これは、Photoshopに予め組み込まれているデータのほか、プリンタのドライバをインストールするときに組み込まれるそのプリンタ専用のプロファイルが表示されるためだ。

エプソンのインクジェットプリンタPM-4000PXで「PM写真用紙の絹目調」を使うなら“PM-4000PX PM/MC Photo P. (PK)”を選択する^{※5}。

※4 ICC（International Color Consortium＝コンピュータやプリンタなどの電気機器上で色の規格化を行うための国際団体）に準拠したカラープロファイル。

※5 用紙の名称が記号化されているため、何を選べばよいのかが分りにくい。表8-2はPM-4000PXの持っているメーカー純正用紙とICCプロファイル名との対応表だ（PM-4000PXはインクチェンジシステムを採用しており、黒インクがフォトブラックとマットブラックとでプロファイルが異なる）。プリンタや用紙のメーカーのWebサイトで、使用する用紙のICCプロファイル名を確認しておこう。



《参考》

エプソンプリンタのICC プロファイルダウンロードページ

<http://www.epson.jp/products/printer/inkjet/colorio/printtechnic/icc.htm>

エプソン純正用紙用ICC プロファイル対応用紙一覧表

http://www.epson.jp/products/printer/inkjet/colorio/printtechnic/paper_list.htm

●フォトブラックインク使用時

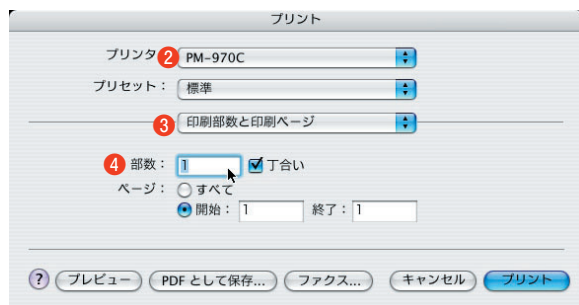
用紙種類	ICC プロファイル名
EPSON 光沢紙	PM-4000PX MC Glossy Paper (PK)
EPSON フォトマット紙	PM-4000PX MC Matte P. (PK)
EPSON 写真用紙〈絹目調〉	PM-4000PX PM/MC Photo P.(PK)
EPSON スーパーファイン紙	PM-4000PX Super Fine 2 (PK)
EPSON 画材用紙／顔料専用	PM-4000PX MC Watercolor P.(PK)

●マットブラックインク使用時

用紙種類	ICC プロファイル名
EPSON フォトマット紙	PM-4000PX MC Matte P. (MK)
EPSON スーパーファイン紙	PM-4000PX Super Fine 2 (MK)
EPSON 画材用紙／顔料専用	PM-4000PX MC Watercolor P.(MK)

表8-2：EPSON PM-4000PXの純正用紙用ICC プロファイル名

④印刷部数の設定



① Photoshop側の「プリント」ボタンをクリックすると、プリンタ側の「プリント」の設定画面が表示される。

② [プリンタ] で使用するプリンタを再度確認しておく。

③ [印刷部数と印刷ページ] が表示された状態でプリント部数を設定する。写真の場合、通常は1枚プリントするだけでいいので、部数は「1」とする(④)。仮に同じ画像を複数枚プリントする場合も、最初は1枚だけプリントして結果をチェック、それでよければ残りをプリントする。

⑤用紙の選択



①前項の③ [印刷部数と印刷ページ] をクリックして、ポップアップメニューから [印刷設定] を選択する。ここで用紙の種類と印刷方法を設定する。

② [用紙種類] のポップアップメニューからプリントに使用する用紙を選択する。先のプロファイルはPhotoshopからプリンタに送るデータに適用されるが、ここではプリンタドライバに知らせる用紙の種類を選択することになる。項目名が [PM マット紙] [専用光沢フィルム] などと明確に示されている。

これらの選択肢もプリンタドライバに予め組み込まれている項目で、あとから用紙メーカーのデータを追加することも可能だ。

このように、用紙の設定は入力側 (Photoshop) と出力側 (プリンタ) の双方で行う。両者の選択肢は名称が異なっているので注意しよう。Photoshopのプリンタプロファイルの設定ではPhotoshopに登録されたプロファイル名を、プリンタの用紙設定ではプリンタドライバに登録されている用紙の種類をそれぞれ選択する。

③ [カラー] では、プリントに使用するインクがカラーか黒 (モノクロ) かを決める。

④ [モード] では [詳細設定] を有効にする。

⑤ [印刷品質] のリストは [用紙種類] で選択した用紙に応じて選択できる項目が制限される。例えば、写真用の用紙を選ぶとフォトとスーパーフォトしか選択できなくなる。

⑥ [双方向印刷] は [有効] にしておき、いったんプリントして画像に筋が目立つようなら [無効] にして再度プリントする。

⑦ [印刷設定] (①) をクリックし、ポップアップメニューから [カラー調整] を選択する。

次ページへ続く ➡

⑥カラー調整



① [カラー調整] を選択する。

② 通常は [ドライバによる色補正] が有効になっており、明度・コントラスト・各インクの色などを調整するスライダで色調を調整できる。しかし、Photoshopで用紙のプロファイルを正しく選択していれば、Photoshop側ですでに変換されたデータが送られてくるので、プリンタドライバ側で微調整を施す必要はない。逆に、プリンタドライバで元の色調が変更される可能性があるため、必ず [色補正なし] を有効にしておく。

すると、明度・コントラスト・各インクの色などを調整するスライダが消える。プリンタ側で色を調整せず、Photoshopのプロファイルだけを基準にして素直にプリントするのだ。

③ 用紙のセットを確認し、[プリント] ボタンをクリックすれば印刷がスタートする。

◆二重の色補正に注意

「アプリケーションカラーマネジメント」を適用する場合、プリンタドライバの「カラー調整」で「色補正なし」以外の項目を選択すると、せっかくPhotoshop側でICCプロファイルに基づいて正しく設定した内容に対して、さらにプリンタドライバでも色の調整を行ってしまうため、二重の色補正によっておかしい色になってしまう。必ず [色補正なし] を選択しよう。